

## 麻生区区民会議 第4回環境部会

(議事要旨)

1. 日 時 平成21年2月23日(月)午前10時から午後0時10分まで
2. 場 所 麻生区役所第2会議室
3. 出席者 天野委員、市川委員、伊藤委員、碓井委員、神本委員、渡邊委員  
(事務局)荻原企画課長、重森主査、稲葉
4. 傍聴者 1人

まず、事務局から2月21日(土)に行われた「区民会議出前フォーラム」、22日(日)に行われた「里地里山フォーラム」の報告をいった。また、3月2日に開催される東京農業大学後藤教授による「じゅんかんチャレンジフォーラム2009」の案内を行った。その後、議事について、審議を行った。

### 1 調査審議課題について

各プロジェクトについての主な意見は、次のとおり。

#### 【生ゴミの堆肥化などの推進】

- ・ 「みどりくん」は保存可能なのかが気になる。
- ・ 受入可能かどうかなどは農家の人に任せて、区民会議はそこを議論するのではなく、展開の仕方などを議論した方がいいのではないか。
- ・ 3月2日には「フォーラム」に麻生区の農家の人を連れて行き、後藤教授や実際に「みどりくん」を使用して農作業をしている人と顔合わせや話をしてもらうのはどうか。

#### 【地産地消の推進】

- ・ こちらのプロジェクトは具体的になってきた。地産地消も「生ゴミの堆肥化などの推進」のプロジェクトと絡ませて進めていったほうがいいのではないか。
- ・ ダンボールコンポストは家庭のできるの、区民に広げていくのはどうか。
- ・ 町会単位でダンボールコンポストの「モデル地区」を作り、実施してみる。それを具体化するのどうか。
- ・ 生ごみは受け入れや輸送面で問題が多い。コンポストなら家庭でできる。「みどりくん」は実験段階。いろんな方法を検討して、まずは家庭などできるところからやってみた方がよいと思う。
- ・ 町会いきなり依頼しても難しいのが現状。町会は土地も人も余裕がない。「私がやる」と率先してやる人がいるかいないか次第。
- ・ 廃棄物減量指導委員会の方がいいかもしれない。
- ・ 団体、個人などどこにターゲットを絞るのかを決める必要がある。
- ・ 生ゴミ関連の小さい組織はいっぱいありすぎる。「ゴミ連」みたいに)もっと

まとめてから町会に持っていかないとダメ。

- ・ 区民会議としては、生ゴミ処理の普及より、ごみ減量運動などいろんな選択肢を挙げて、家庭やグループそれぞれできることを発掘する。そしてそれらを区民に知らせていく、というのが良いのでは？「こういうことがやりたい」と思ったときにどこに行けばいいのかを区民に示せばいい。
- ・ 協働のモデルプランを作り、その後広げていくのが良いのではないだろうか。

「協働のモデルプラン」については、部会長呼びかけのもと、次回の部会で各委員が企画案を持ち寄ることとなった。

#### 【その他】

- ・環境のことを区民に伝えていく手段として、広報紙では限界があるので、映像 DVD を作ってはどうか。内容によっては日本映画学校に相談してもいい。作成後は小学校や環境団体に配布すればいい。

この件については、発起人である神本委員が、次回の部会で具体的な企画案を出すことになった。

レストランあさおでの地産地消メニューについては、引き続きレストランと進めていくこととなった。

## 2 その他

今回は、4月15日（水）午前10時から区役所第5会議室で行うこととなった。